



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社シンシア  
 コード番号 7782 URL <http://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5695)7470

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	2,024	3.7	78		98		72	
29年12月期第2四半期	2,101		179		247		171	

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 76百万円 ( %) 29年12月期第2四半期 177百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	10.50	
29年12月期第2四半期	25.65	24.78

(注) 1. 30年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	2,711	2,133	78.7
29年12月期	3,112	2,333	75.0

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 2,133百万円 29年12月期 2,333百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		12.00	12.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,133	4.8	65	75.8	65	80.8	45	79.4	6.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	6,862,200 株	29年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	64,400 株	29年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	6,856,729 株	29年12月期2Q	6,701,249 株

(注) 当社は、平成29年3月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で持ち直しの動きが続くなど緩やかな回復基調で推移した一方、地政学的リスクの拡大や、海外の政治・経済動向の不確実性、金融資本市場の変動による影響など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

コンタクトレンズ業界におきましては、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや、カラーコンタクトレンズ市場の拡大もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測され、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進活動が激化しており、今後も継続するものと思われまます。

このような状況の中での当社グループの状況は、前連結会計年度から引き続きOEM取引を取り巻く競争環境は激化しており、売上高について苦戦を強いられております。

OEM取引については今後も競争環境は激化していくものと考えており、当社グループでは自社ブランド商品の売上の増加を今後の最重要課題とし、当社グループのブランド価値向上や当社カラーコンタクトレンズ基幹ブランド「FAIRY 1day」（平成30年4月大幅リニューアル）、ドラッグストア専売クリアコンタクトレンズ「1day Eye Well」（平成29年11月発売）及び1ヶ月装用タイプカラーコンタクトレンズ「Miche Bloomin' Monthly」（平成30年2月発売）といった新商品の投入等に関する積極的な販売促進活動（販売促進費97,441千円（前年同四半期比98.7%増））・広告宣伝活動（広告宣伝費125,477千円（前年同四半期比142.4%増））に取り組んでおります。更なる新商品開発活動（承認関係手数料28,218千円（前年同四半期比174.8%増））についても、引き続き積極的に取り組んでまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,024,277千円（前年同四半期比3.7%減）、営業損失78,219千円（前年同四半期は営業利益179,647千円）、経常損失98,642千円（前年同四半期は経常利益247,995千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失72,010千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益171,870千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,601,216千円となり、前連結会計年度末に比べ329,700千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が34,180千円、その他に含まれる預け金が58,689千円増加したものの、現金及び預金が222,610千円、外国為替差入証拠金が123,051千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は109,993千円となり、前連結会計年度末に比べ71,108千円減少いたしました。これは主にその他に含まれる差入保証金が68,113千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,711,210千円となり、前連結会計年度末に比べ400,808千円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は566,939千円となり、前連結会計年度末に比べ189,439千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が94,492千円、その他に含まれる前受金が40,631千円、未払金が31,436千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は11,260千円となり、前連結会計年度末に比べ11,019千円減少いたしました。これはデリバティブ債務が11,019千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は578,199千円となり、前連結会計年度末に比べ200,458千円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,133,010千円となり、前連結会計年度末に比べ200,350千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が154,357千円、自己株式の取得により41,042千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.67%（前連結会計年度末は75.00%）となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ244,431千円減少し、663,118千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、売上債権の減少額48,201千円等の増加要因に対し、税金等調整前四半期純損失98,642千円、その他資産の増加額55,380千円、前受金の減少額40,631千円等の減少要因により、221,190千円の減少（前年同四半期は131,972千円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、外国為替差入証拠金の純減額123,051千円、敷金及び保証金の回収による収入68,000千円等の増加要因に対し、デリバティブ取引による支出33,148千円等の減少要因により、132,995千円の増加（前年同四半期は241,409千円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出10,002千円、自己株式の取得による支出41,042千円、配当金の支払額81,856千円等の減少要因により、151,548千円の減少（前年同四半期は107,641千円の増加）となりました。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年2月14日の「平成29年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	907,550	684,940
売掛金	597,561	545,788
商品	722,721	700,033
貯蔵品	95,474	103,521
前渡金	9,316	16,294
繰延税金資産	7,529	41,709
外国為替差入証拠金	485,167	362,115
デリバティブ債権	47,644	30,763
その他	77,950	137,157
貸倒引当金	△19,999	△21,106
流動資産合計	2,930,917	2,601,216
固定資産		
有形固定資産	18,402	19,416
無形固定資産	15,549	14,583
投資その他の資産		
投資有価証券	1,646	1,638
繰延税金資産	4,239	714
デリバティブ債権	20,790	19,370
その他	121,845	55,642
貸倒引当金	△1,371	△1,371
投資その他の資産合計	147,150	75,994
固定資産合計	181,102	109,993
資産合計	3,112,019	2,711,210

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	166,391	154,758
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	16,650	6,648
未払法人税等	99,735	5,242
賞与引当金	6,100	12,198
株主優待引当金	4,734	-
デリバティブ債務	51,468	34,051
その他	211,298	154,040
流動負債合計	756,378	566,939
固定負債		
デリバティブ債務	22,279	11,260
固定負債合計	22,279	11,260
負債合計	778,658	578,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	374,674	374,674
利益剰余金	1,650,210	1,495,853
自己株式	-	△41,042
株主資本合計	2,298,307	2,102,908
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	31,137	28,228
為替換算調整勘定	3,916	1,873
その他の包括利益累計額合計	35,053	30,102
純資産合計	2,333,360	2,133,010
負債純資産合計	3,112,019	2,711,210

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,101,044	2,024,277
売上原価	1,475,976	1,477,075
売上総利益	625,067	547,202
販売費及び一般管理費	445,420	625,421
営業利益又は営業損失(△)	179,647	△78,219
営業外収益		
受取利息	851	618
デリバティブ評価益	47,456	14,376
為替差益	22,875	-
その他	2,264	843
営業外収益合計	73,448	15,838
営業外費用		
支払利息	1,822	4,842
貸倒引当金繰入額	2,825	3,760
為替差損	-	27,084
その他	452	574
営業外費用合計	5,100	36,262
経常利益又は経常損失(△)	247,995	△98,642
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	247,995	△98,642
法人税、住民税及び事業税	86,890	2,691
法人税等調整額	△10,765	△29,323
法人税等合計	76,124	△26,631
四半期純利益又は四半期純損失(△)	171,870	△72,010
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	171,870	△72,010



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	171,870	△72,010
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	4,968	△2,908
為替換算調整勘定	938	△2,042
その他の包括利益合計	5,907	△4,950
四半期包括利益	177,777	△76,961
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,777	△76,961
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年1月1日 至平成30年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	247,995	△98,642
減価償却費	5,089	3,907
のれん償却額	615	615
貸倒引当金の増減額（△は減少）	899	1,318
賞与引当金の増減額（△は減少）	17,100	6,123
受取利息及び受取配当金	△851	△618
支払利息	1,822	4,842
為替差損益（△は益）	△15,045	34,068
デリバティブ評価損益（△は益）	△47,456	△14,376
売上債権の増減額（△は増加）	134,322	48,201
たな卸資産の増減額（△は増加）	△145,818	11,447
前渡金の増減額（△は増加）	47,231	△6,977
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,658	△9,401
前受金の増減額（△は減少）	15,161	△40,631
その他の資産の増減額（△は増加）	△25,887	△55,380
その他の負債の増減額（△は減少）	△72,569	△16,625
その他	278	84
小計	156,228	△132,042
利息及び配当金の受取額	747	504
利息の支払額	△1,854	△4,826
法人税等の支払額	△23,148	△84,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,972	△221,190
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△21,821
有形固定資産の取得による支出	△7,026	△3,489
無形固定資産の取得による支出	△6,656	△657
デリバティブ取引による支出	△5,853	△33,148
デリバティブ取引による収入	29,265	5,175
関係会社貸付けによる支出	-	△4,000
敷金及び保証金の差入による支出	-	△115
差入保証金の回収による収入	-	68,000
外国為替差入証拠金の純増減額（△は増加）	△251,139	123,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241,409	132,995
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△31,669	△10,002
自己株式の取得による支出	-	△41,042
株式の発行による収入	104,850	-
配当金の支払額	△65,539	△81,856
上場関連費用の支出	-	△18,559
その他	-	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	107,641	△151,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,139	△4,687
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△8,935	△244,431
現金及び現金同等物の期首残高	1,137,026	907,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,128,090	663,118

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間において、平成30年3月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式64,400株の取得を行いました。

これにより、自己株式が41,042千円増加しております。